

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民まつり補助事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-6	市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進		主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民まつり実行委員会	意図	流山市民まつりを開催する。
事業内容	市民相互の連携とふるさと意識の高揚を図ることを目的に開催される市民まつりを主催する実行委員会に補助金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民まつりは昭和53年から開催している。平成6年度に補助金交付要綱を制定し、補助金の目的を明確化した。補助金額は、平成15年度450万円、平成16～17年度380万円、平成18～20年度300万円、平成21～23年度360万円。平成24～30年度300万円。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	来場者数	33,000	3,300	34,000	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

市民をはじめ参加市民団体・企業等のふるさと意識の醸成、姉妹友好都市との交流を図る重要な機会となっている。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

企画、準備から撤収まで実行委員会をはじめ市内の各種団体、ボランティア等の活動に支えられている。市内商工業の祭典、医療福祉関係の祭典、姉妹友好都市物産展、市民・市民活動団体の発表の場、市民活動団体ブース、行政関連ブース、子ども広場、はたらく車コーナーを企画し来場した誰もが楽しめるイベントとなっている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	18,019,250	17,713,250	17,515,250
事業費(b)(円)	3,000,000	3,000,000	3,000,000
うち一般財源	3,000,000	3,000,000	3,000,000
職員給与と費(c)(円)	15,019,250	14,713,250	14,515,250
人役・職員(人)	2.00	2.00	2.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.75	0.75	0.75
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事前準備や運営方法（ブース配置等）について、実行委員会や関係機関と協議していく。	③取組における課題(Check)	雨天であっても楽しめる内容での実施が必要。
②H30に実施した取組(Do)	キッコーマンアリーナ及びキッコーマンアリーナ駐車場を会場に開催した	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	主催者である実行委員会と協議して決定する。